

進路学習だより

Break-through

打破！

ブレイクスルー

第3号

令和元年6月3日(月)

小笠原中学校

進路学習部

◆ 1学期期末考査まで、あと2週間 ～計画的な学習習慣を～

今月中旬から期末考査が始まります。学年が新しくなって初めての定期考査。特に1年生にとっては初めての定期考査になります。きっと多くの生徒のみなさんが新たな気持ちでよい結果を残そうと考えていることでしょう。そこで今回は、定期考査の結果を大きく左右する、この2週間の使い方をどのように計画していくか、ということについて考えていきましょう。

「勉強なんて、そのときやりたい教科をやったほうが効果があるじゃん。だから計画なんて立てたって意味ないよ。」なんて考えていませんか。そんなことは決してありません。学習計画を上手に立てられるようになれば、定期考査でよい結果を残すことも夢ではないのです。定期考査でよい結果を残すためには、提出物を含め、試験までの日数内に全教科の勉強を計画的に進めなければなりません。計画がしっかり立っていないと、どんな人でも得意な教科ばかりを多く学習してしまったり、苦手な教科がおろそかになったりしてしまいがちです。自分がどこでつまづいているかを正確に知って、学習すべき項目をきちんと確認してほしいと思います。

また、計画を立てたらそれを実行するよう努力することも大切です。「臨機応変」などと都合のいいことを言って、計画を無視した学習を続けていたら、いつまでたっても計画的に学習することなどできるようになりません。2、3年生は、昨年度までの考査前の取り組みで、計画した時間機に向き合い、実行することができているでしょうか。進級を機に計画の立て方を見直し、自分が立てた計画を実行できているかを把握することも大切です。

定期考査に向けて、効率よく効果的に学習を進めていくためにも、学習時間確保ができるよう家庭での時間の使い方を見直し、自らの行動を律する「自律」の力を付けてほしいと思います。

◆ 自己を知る

期末考査が終わると、夏休みも間近です。部活の遠征や家族や友達との約束など、楽しみなことがたくさん待っていることでしょう。でも夏休みは長いお休みですので、「自分を見つめ、将来を考える時間」もぜひとってほしいと考えています。

夏休み中は上級学校の学校公開や、企業・団体などの体験講座、職業に関するボランティア活動など、進路に関わるイベントも多く開催されます。自らの興味・関心を知り、生き方についてじっくり考えるチャンスにもなりますので、こうした催し物にも積極的に参加してみましょう。

こうしたイベントなどに参加することで、今まで知らなかった自分が見つかることもあります。今までやったこともなかったようなことをやってみて、「えっ、これってこんなに楽しかったの?」「世の中にはこんなことができる職業があるんだ。」と新たな発見をして、自分が思ってもみなかったような豊かな人生が送れるようになることも珍しいことではありません。

みなさんにも、そんな人生の転機になるような出来事がこの夏休みに起こるかもしれません。そこまでのことはなくても、ちょっとした気持ちで参加したイベントで、新たな自分の好きなことが見つかるかもしれません。インターネットを活用すれば、そうした情報はたくさん出てきますし、担任の先生や教科の先生に相談してみてもよいでしょう。

みなさんもそんなイベントに興味をもって、探してみることから始めてみませんか。